

# いしのまき

No.  
79

## 市議会だより

令和5年11月21日発行

第3回定例会 .....	2
各常任委員会審査報告 .....	4
22人が一般質問で市政を問う .....	8
行政視察レポート .....	18



今年度から新しく始まった移動型児童館（遊楽館会場）

## 第3回例会

令和4年度決算や条例、  
補正予算、意見書など29件を  
認定・可決

令和5年第3回定例会は、9月7日から27日までの21日間の日程で開催し、決算認定3件、市長提出議案25件、議案案1件を審議した結果、決算を認定し、条例や予算などはすべて原案のとおり可決しました。

## 第3回定例会に提出された

### 議案と審議結果

#### 決算等

(認定・原案可決)

令和4年度

- ・石巻市一般会計及び各種特別会計決算認定について
- ・石巻市病院事業会計決算認定について
- ・石巻市下水道事業会計利益剰余金の処分について
- ・石巻市下水道事業会計決算認定について

#### 予算

(原案可決)

令和5年度

- ・石巻市一般会計補正予算(第3号)
- ・石巻市一般会計補正予算(第4号)
- ・石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)
- ・石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

- ・石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ・石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ・石巻市下水道事業会計補正予算(第1号)

#### 条例

(原案可決)

- ・石巻市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例
- ・石巻市立学校設置条例及び石巻市保育所条例の一部を改正する条例
- ・子ども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に關する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

- ・石巻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び石巻市認可保育所等の保育料に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例

#### その他

(原案可決)

- ・専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(令和5年度石巻市一般会計補正予算(専決第3号))
- ・工事請負の契約締結について(小網倉漁港船揚場整備工事)
- ・(須江小学校屋内運動場・水泳プール改築工事)
- ・(青葉中学校校舎老朽化対策工事)
- ・工事請負契約の一部変更について(東中瀬橋仮棧橋設置工事)
- ・(七窪蛇田線橋梁上部工新設(その2)工事)

- ・(七窪蛇田線道路新設(その2)工事)
- ・(河北消防署庁舎建設その他工事)
- ・(石巻中学校屋内運動場長寿命化改修工事)
- ・訴えの提起について
- ・市道路線の認定について

#### 人事

(異議がない)

- ・人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて
- ↓馬場務氏、及川健氏、今野美智子氏、千葉秀子氏、阿部英二氏を推薦することに異議がない。

#### 議案

(原案可決)

- ・ALPS処理水について風評被害等の早期対応を求める意見書



▲安倍太郎 議長

## 第3回定例会で可決した議案の中から主な内容を紹介します。

### 可決した条例から

#### ◆石巻市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例

平成17年7月に制定した「石巻市長期継続契約とする契約を定める条例」について、条例制定当時には一般的に普及しておらず、対応していなかった契約を追加し、より実情に即した事務が図られるよう現行条例の全部を改正するもの。

#### ◆石巻市廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例

ダイオキシン類対策特別措置法の施行により、基準適合外で閉鎖した焼却施設について合併特例債を活用し、計画的に解体事業を進めていることに伴い、「石巻市雄勝クリーンセンター」を廃止し施設を解体するため、本条例の一部を改正するもの。

### 可決した補正予算から

一般会計補正予算（第3号）は、令和4年度決算に係る各種事業の精算に伴う経費のほか、補助内示のあった各種国県補助事業、早急な対応が必要な各施設の改修に要する経費などを措置したもの。

一般会計補正予算（第4号）は、国との「部分林設定契約」に基づき、国から分収木の売払いについて通知を受けたことから、本市と部分林組合との「部分林造成契約」に規定する分収割合に基づき、同組合への支払いに要する造林分収金を措置したもの。

#### ◆総務費では

- ・防災集団移転団地等の一般分譲に伴う国庫返還金  
5億3,126万円

#### ◆民生費では

- ・福祉関係国県補助金の前年度決算に伴う返還金  
1億6,218万円
- ・地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の内示に伴う事業費の予算措置  
1,448万円
- ・建材へのアスベスト使用、地中への杭打ち等が判明した大谷地、二俣、大川保育所の解体撤去工事費用の増額措置  
4,250万円

#### ◆衛生費では

- ・障がい児・者歯科診療の体制拡充に要する経費  
100万円

#### ◆農林水産業費では

- ・県の計画承認に伴う新規就農者の事業支援に要する経費  
562万円
- ・山林に係る小規模治山事業に要する経費  
750万円
- ・部分林組合との「部分林造成契約」に基づき支払いを要する造林分収金  
1,108万円

#### ◆土木費では

- ・復興公営住宅の火災復旧等改修に要する経費  
5,305万円

#### ◆教育費では

- ・石巻市民球場のフェンス腐食に伴う改修経費  
600万円



▲奥山浩幸 副議長

## 各常任委員会審査報告

9月8日および12日の本会議で、決算や条例、補正予算などの議案が審議され、各常任委員会に付託されました。

審査されたことの中からいくつかの質疑と答弁の要旨等を紹介いたします。

### 条例・補正予算等審査

#### 総務企画委員会



阿部浩章 委員長

石巻市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例

**Q** 対象となる契約について伺う。

**A** 現行では、コピー機、パソコン等の事務用機器やそれに付随する保守業務のほか、公用車の賃貸借契約、施設の保守点検等の委託業務であり、これらに加え、新たにAED

等の医療機器や、システムソフトウェアの使用の許諾に関する契約等を対象とする。

**Q** 締結した契約の公表方法について伺う。

**A** 契約の名称、相手方、金額、契約の期間の4項目を、年2回9月と3月に公表する。なお、契約期間は5年以内とし、契約期間満了に合わせ入札等を実施することで、同じ業者にならないような対応をしている。

#### 環境教育委員会



遠藤宏昭 委員長

令和5年度石巻市一般会計補正予算(第3号)について

**Q** 雄勝クリーンセンター解体事業の工期の変更理由について伺う。

**A** 当初、工事契約議案を今期定例会に提案する予定としていたが、提案前に条例から同施設を削除する必要があるため、工事契約議案は令和5年第4回定例会への提案とし、

工期が変更となる。

**Q** 工期変更後の事業終了予定について伺う。

**A** 工期を変更しても2か年事業は変わらず、令和7年3月に工事が終了する見込みである。

#### 保健福祉委員会



千葉正幸 委員長

付託された石巻市立学校設置条例及び石巻市保育所条例の一部を改正する条例、こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例、石巻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び石巻市認可保育所等の保育料に関する条例の一部を改正する条例、令和5年度石巻市一般会計補正予算(第3号)、令和5年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)、令和5年度石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)、令和5年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)の7議案は、慎重審

査の結果、いずれも原案を可決することに決した。

#### 産業建設委員会



櫻田誠子 委員長

付託された令和5年度石巻市一般会計補正予算(第3号)、令和5年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)、令和5年度石巻市下水道事業会計補正予算(第1号)の3議案は、慎重審査の結果、いずれも原案を可決することに決した。



本会議の様子

# 決算審査

令和4年度石巻市一般会計  
および各種特別会計決算認定

## 総務企画委員会

選挙について

**Q** 投票率向上のための方策について伺う。

**A** これまででは投票所に来て投票していただいていたが、令和4年度の参議院議員選挙で試行した移動式期日前投票所により、高齢者の多い地区にこちらから出向いて投票しやすい環境づくりに努めている。また、体の不自由な方などについては、代理記載や郵便で投票できる制度を積極的に周知していく。

災害用備蓄配備事業について

**Q** 備蓄品の更新時期と更新で役割を終えた備蓄品の活用方法について伺う。

**A** 備蓄品の保存年限が5年であることから、期限が切れる1年前に更新しており、役割を終えた備蓄品は市の防災訓練や地域の訓練等で活用している。

財政状況について

**Q** 財政調整基金の残高について伺う。

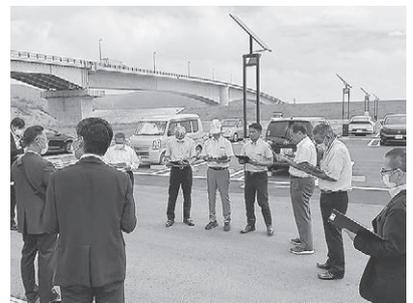
**A** 令和4年度末で約85億8千万円である。

**Q** 市民に対し財政状況を分かりやすく公表することについて伺う。

**A** ホームページのほか、市報で年に2回、財政状況を公表しており、家計に例えた掲載もしているが、引き続き分かりやすい公表に努めていきたい。

**Q** 今後、施設の維持管理経費の負担が大きくなると見込まれる中、経常収支比率が悪化した要因と改善策について伺う。

**A** 歳出としては、物価高騰があった部分もあり、前年度とほぼ同額であったが、歳入の普通交付税等が減少したことが悪化した主な要因である。歳入を増加させることは難しいため、公共施設の統廃合等により適正な施設規模にすることで、維持管理経費等を削減し財政状況を改善していきたい。



離島航路門脇駐車場 現地視察

## 環境教育委員会

ずっと住みたい地域づくり支援事業について

**Q** 事業名称の変更による取り組みの進展について伺う。

**A** 以前の「地域自治システム推進事業」では住民自治組織の設立に向けたサポートを行ってきたが、まずは各地区で事業内容を把握してもらうことに重きを置き、事業名称変更後は、住民自治組織をまだ設立していない地区に対して、事業内容や制度の仕組みを説明し、情報提供を行っている。

石巻霊園無縁墳墓改葬事業について

**Q** 改葬までに5年を要することに対する事業の進め方について伺う。

**A** 無縁墓所の改葬は、しばらくの間手が付けられていない墓

所に立札を設置し、1年程度連絡がない場合は、霊園条例に基づく2年間の墓所使用喪失公告の実施により、墓所使用権の喪失を確定させ、さらに1年間、無縁墳墓の改葬公告を実施し、官報および新聞掲載を行う流れとなるため、改葬が終わるまで約5年を要するものである。

適応指導教室について

**Q** 適応指導教室の目的とする不登校児童生徒の社会的自立につながっているのか伺う。

**A** これまでの適応指導教室では、学校と同様に指導員が授業を教え、児童生徒が学校に復帰することを目的に取り組んできた。令和5年度からは学びサポートセンターを立ち上げており、学校以外で学べる場所の提供、子ども一人一人に合わせた居場所づくりを目的に運営を行っている。

須江小学校について

**Q** 屋内運動場改築事業の進捗状況について伺う。

**A** 工事発注を終え、施工開始に向け、体育用具の移動など準備を進めている。

**Q** 避難所機能等、改築で考慮する点について伺う。

**A** トイレの洋式化や、段差の解消をはじめとしたバリアフリ

ー化など、改築に当たっては、多くの人が利用することを想定して整備を進める。

**社会教育・体育施設等の適正配置および長寿命化計画**

**Q** スピードを上げ具体的に進めていく考えについて伺う。

**A** 第1期から第4期まで10年ごとの計画内容となっており、計画期間における各施設の修繕スケジュールをしっかりと定め、関係部局と協議しながら段階的に進めていきたい。



向永井集会所 現地視察

## 保健福祉委員会

**社会福祉関係助成について**

**Q** 地域共生社会の実現に向けた取り組みや、包括的な支援体制を推進する取り組みの内容について伺う。

**A** 社会福祉協議会の地域福祉担当職員や地域福祉コーディネ

ーターが、自治会の会議や地域の福祉イベントなどに参加し、民生委員や関係機関と連携して、顔の見える関係づくりを努め、地域課題の把握や情報共有等を行っている。

**Q** コミュニティカーシェアリング推進事業について

**A** カーシェアリング協会への助成金および運航車両の事故対策について伺う。

**Q** 送迎支援や高齢者の見守りな

**A** どの助成項目に応じて、12万円または6万円の上限を設け、助成期限は5年としている。今後は、安全運転講習の実施など、一般社団法人日本カーシェアリング協会と連携して、事故対策に取り組んでいきたい。

**要配慮者等避難支援事業について**

**Q** 避難行動要支援者制度に関する出前講座の実施状況および情報共有の取り組みについて伺う。

**A** 令和4年度に出前講座を3回実施しており、自主防災組織の防災訓練等を通じて、要支援者の把握や地域の助け合い意識の醸成を図るよう働きかけている。

**石巻市病院事業会計について**

**Q** 牡鹿病院の今後の在り方について伺う。

**A** 牡鹿地区の人口減少に歯止めがかからず、入院者数、外来患者数ともに減少し、収益も落ちている状況ではあるが、交通手段の限られている中、地域住民の健康保持に向け、安心して適切な医療を受けられる体制は必要であると考えており、医療サービスの提供体制を維持しながら、ニーズに合った医療機能の見直しを検討していく。

**高齢者等に対するオンライン診療の仕組みづくりについて**

**Q** 診療の仕組みづくりについて伺う。

**A** オンライン診療を実施するための、医師の講習受講を進めるとともに、一定の医療行為を行うことのできる診療看護師の養成に取り組む予定であり、診療看護師が高齢者等を訪問し、その後に医師がオンラインで診療するなど、今後さまざまな方法を検討していく。



河北保育所 現地視察

## 産業建設委員会

**有害鳥獣農作物被害防止対策事業について**

**Q** ニホンジカ捕獲頭数について伺う。

**A** 令和2年度は約2500頭、令和3年度は約3千頭の捕獲頭数である。これらの成果により令和4年度の捕獲頭数は1545頭に減少した。

**石巻産食品輸出強化事業について**

**Q** 輸出先について伺う。

**A** アメリカ、東南アジア方面への輸出が多くなっている。

**Q** 水産加工業HACCP等導入支援事業に応募がなかった原因について伺う。

**A** 令和2年度から令和4年度にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響により、認証に向けた活動を控える企業が多かったと思われるが、今も応募がない状況が続いており、水産業界の現状を分析しながら、戦略的に対応を進めていきたい。

**Q** リポーンアートフェスティバル開催支援事業について

**A** 雄勝防潮堤の壁画に対する支援について伺う。

**Q** 雄勝防潮堤の壁画に対する支援について伺う。

**A** 雄勝防潮堤の壁画に対する支援について伺う。

**Q** 雄勝防潮堤の壁画に対する支援について伺う。

**A** 雄勝防潮堤の壁画に対する支援について伺う。

**Q** 雄勝防潮堤の壁画に対する支援について伺う。

**A** 観光客を呼び込むという点では産業部の所管に該当するが、アート作品に対する支援という点については、どの部署が所管すべきものなのか庁内で議論の上、整理が必要であり、今後検討したい。

**地方創生RPGアプリにおける地域賑わい創出事業について**

**Q** アプリダウンロード数の推移について伺う。

**A** 令和5年3月末で2万4666件、7月末で2万5094件の累計数である。

**Q** アプリのプロモーションについて伺う。

**A** アプリの更新内容やターゲットの年齢層の絞り込み等を石巻専修大学と連携しながら、効果的なプロモーションを検討していきたい。

**融資あっせん制度事業について**

**Q** 社会情勢を踏まえた対応策について伺う。

**A** 中小企業一般融資については、令和3年度45件、令和4年度191件と融資件数が伸びている状況であり、引き続き、商工会議所等の関係機関と連携して取り組んでいきたい。

**海水浴場開設事業について**

**Q** 白浜ビーチパーク内で行っているバーベキュー器材のレンタルの実施主体について伺う。

**A** 白浜ビーチパーク運営組合が実施している。

**Q** バーベキュー器材のレンタル料金について、1人当たりの料金設定を見直すのではないかと伺う。

**A** 利用者が納得しやすい料金設定について、運営組合と協議していきたい。

**Q** 白浜ビーチパーク管理棟内における、条例上の行為の制限に該当する営利を目的とした行為の有無について伺う。

**A** 管理棟の行政財産目的外使用を認めており、その際の用途指定で、地域住民や白浜ビーチパーク利用者の利便性向上と施設の利用促進を図る範囲において飲物等の提供販売の実施を承認しており、条例上の行為の制限には該当しない。

**道路維持費の道路ストック長寿命化事業について**

**Q** サン・ファントンネルの整備について伺う。

**A** トンネルの光源設備の更新が必要となるため、補助事業に該当するか県と協議し、財源確保も含め検討したい。

**港湾整備推進について**

**Q** 客船の誘致による交流人口の拡大について伺う。

**A** 関係課で調整して、大型客船の観光客に向けた中心市街地や復興祈念公園等における観光施策を提案していきたい。

**市営住宅入居者移転計画推進事業について**

**Q** 実施内容について伺う。

**A** 既存市営住宅入居者の住環境を改善するため、移転先となる復興住宅の設備、バリアフリー、移転補償金、20年間の家賃減額というメリットを丁寧に説明し、入居者の理解をいただきながら本事業を推進していきたい。

**危険ブロック塀除去等事業について**

**Q** スクールゾーンにある危険性の高いブロック塀の件数について伺う。

**A** 令和4年度末で特に危険なものが残っているのが18カ所あり、個別訪問等で除却の協力を依頼していきたい。

**下水道事業会計について**

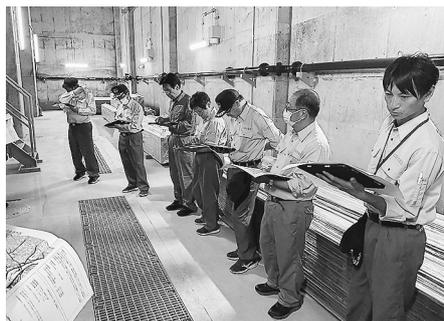
**Q** 新しい雨水排水ポンプ場の整備状況について伺う。

**A** 石巻北部排水区の幹線管渠の一部以外は既に完成しているが、現在は石巻中央幹線への接続工事等を進めており、令和5年度の完成を

予定している。

**Q** 市道の冠水で避難場所に行けない状況の対応策について伺う。

**A** 効率的に雨水を排水するため、ポンプ場の整備のみならず、つながる幹線管渠を延ばす等、どのような工夫ができるか各地を調査して検討していきたい。



中央排水ポンプ場 現地視察



かわまち交流広場 現地視察

# 一般質問

議員22人が登壇

## 市政を問う!

第3回定例会の一般質問は、22人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただしたり、政策提言を行いました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

議論の様子は、録画映像でもご覧になれます。

### 一般質問通告一覧(質問順)

※ウイルス感染防止対策のため答弁を含め、1人50分以内の質問時間となっています。

①遠藤 宏昭 (ニュー石巻) 1 町内会活動の限界について 2 空き地(私有地)の管理の現状について	⑫勝又 和宣 (ニュー石巻) 1 雨水調整池について 2 石巻市産業振興計画について 3 学校行政について
②阿部 和芳 (日高見会) 1 市長の政治姿勢(行財政改革)について	⑬宇都宮 弘和 (石巻風の会) 1 上品山牧場の活性化と今後の展望について
③齋藤 澄子 (無会派) 1 石巻斎場、バリアフリー化の進捗状況について。また、市として合同墓地、永代供養ができる施設設置について 2 児童生徒を猛暑から守る対策について 3 東京電力福島第一原発事故で発生したALPS処理水の海洋放出について 4 湊地区の諸課題について	⑭楯石 光弘 (ニュー石巻) 1 メタボ市脱却対策について 2 健康ポイント事業の見直しについて 3 子どもの体力格差について
④早川 俊弘 (ニュー石巻) 1 大雨対策について 2 魚市場周辺の整備について 3 石巻市立病院の運営について	⑮櫻田 誠子 (公明会) 1 SDGsだれひとりとのこさないために 2 市民の安心、安全のために
⑤木村 美輝 (ニュー石巻) 1 カーボンニュートラルの取り組みについて 2 石巻南浜マリナーの利用状況について 3 くじらの普及活動について 4 ALPS処理水放出後の今後の対応について	⑯原田 豊 (ニュー石巻) 1 ふるさと納税と施策との関係性について 2 外国人から見た日本の住環境について
⑥星 雅俊 (日高見会) 1 地域資源の活用促進について 2 指定管理者制度の課題について 3 津波避難計画の課題について	⑰阿部 正敏 (石巻風の会) 1 今年発生した豪雨災害について 2 雨水排水整備後旧市内における浸水リスク地域の変化について 3 下水道事業会計における今後の課題について
⑦都甲 マリ子 (日高見会) 1 本市における「心の復興」とソフト事業の今後について 2 本市の文化芸術振興について	⑱谷 祐輔 (石巻風の会) 1 石巻市LINE公式アカウントについて 2 本市における風評被害の払拭と風化対策について 3 ホスピタリティの向上と推進について
⑧佐藤 雄一 (ニュー石巻) 1 学校給食について 2 ふるさと納税について 3 地域おこし協力隊について 4 今後の感染症対策等について	⑲我妻 久美子 (石巻風の会) 1 須江地区の火力発電所の建設計画について 2 石巻市立病院給食業務委託事業について 3 河南総合支所建て替えについて 4 中学校の図書室の活用について
⑨千葉 正幸 (ニュー石巻) 1 桃生地区3小学校統合について 2 市営住宅の払下げについて 3 消防団と地域防災について 4 タクシー会社も支援している高齢者運転免許証の返納奨励について	⑳西條 正昭 (石巻風の会) 1 東京電力福島第一原子力発電所の「ALPS」処理水海洋放出に伴う風評被害対策は万全に 2 東日本大震災から発展的復興を目指してきた石巻市の現状について 3 国道398号(北上地区)道路改良整備について 4 県道(北上～津山線)道路改良整備について
⑩山口 荘一郎 (石巻風の会) 1 キャリア教育について	㉑後藤 兼位 (石巻風の会) 1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について
⑪鈴木 良広 (公明会) 1 気候変動への対策について 2 石巻霊園の現状について	㉒阿部 久一 (ニュー石巻) 1 福島第一原発の処理水海洋放出に伴う風評被害対策について 2 防災対策について



遠藤 宏昭 議員

ニュー石巻



町内会活動の限界について

町内会の主な活動について伺う。

答 環境美化活動（公園の除草・側溝清掃・ごみ置き場の管理）、防災訓練、交流イベントなど。

問 少子高齢化などにより、町内会の会員数が減少しているため、町内会役員の負担が増大している。特に、公園の除草・側溝清掃は人手が足らず大変である。行政からのサポートをお願いしたい。

答 町内会活動が困難になってきていることは認識している。個別に相談してほしい。

問 町内会の現状、特に組織運営における「困っていること・気を使っていること」に耳を傾けてほしい。課題解決を図るため、町内会連合会や地域連携会議を通じて、情報収集をお願いしたい。

答 各種情報の提供や研修会を実施して、しっかりとサポートしていく。

問 『町内会つて、何をやるのっしや』価値観の多様化・生活様式の変化により、町内会の役割を見直す時期にきている。若い世代に向けて、「町内会の活動」を市報などで周知・PRしてほしいかがか。

答 町内会の必要性を再確認するためには、いい提案である。検討したい。

空き地（私有地）の管理の現状について

問 空き地の管理に関する苦情は、年間何件届いているか。

答 約260件（雑草の繁茂・ごみの投げ捨て・ハチなどの害虫発生）。

問 市民も行政も困っているのに対応策がないのはおかしい。

答 国への要望活動を重点的に行う。



阿部 和芳 議員

日高見会



市長の政治姿勢（行財政改革）について、高齢化率増、人口減少、水産都市としてALPS処理水海洋放出による風評被害等取り巻く環境が厳しい。さらに経常収支比率の悪化について所見を伺う。

答 大変厳しい状況と認識している。行財政改革による歳出削減と併せて、事業の必要性や内容を十分に精査する。

問 「入りを量り出を制す」を断行していかなければならない。行財政改革の断行の決意は。

答 管理費の削減のため、公共施設の統廃合・削減などを市民の理解を得て行っていきたい。

問 ふるさと納税がメッセージ付きで倍増している。全国からの応援に感謝し、補助金もルール化によって支出すべきだが、所見を伺う。

答 自らの責任で判断、行動しなければならぬこともあるため、一定のルール以外も必要だ。

問 渡波や半島部の東部地区と西部地区の偏在する医療体制の今後の対応は。

答 格差解消および小児科医院誘致のほか、産科医不足解消などを目的とした支援事業について、早期の制度創設に向けた準備、検討を進めている。住民ニーズの把握に努め維持、向上させるよう取り組む。

問 人工透析をはじめ、病気で困難な方々のために送迎対応などの格差をなくしてはどうか。また、まずは病気にならないように予防と検診受診率の向上も図るべきだ。一体感の醸成でオール石巻へのアプローチをすべき。



齋藤 澄子 議員

無会派



石巻斎場のバリアフリー化の進捗状況および先進自治体に学び合同墓所設置について伺う。

答 2階待合室を建設部建築課とも現地確認を行い、改修について調整中。石巻第二霊園に個別集合墓所363区画、毎年5月に30基を目安に募集を行っており、随時募集は検討する。合同墓地については今後の社会情勢や霊園募集状況を見て研究する。

問 児童生徒の猛暑対策のため、暑い日差しから児童生徒を守るよう、教室のサッシをペアサッシに変えるべきでは。

答 石巻市学校施設整備保全計画において改修時に断熱性向上のため、ペアサッシへの改修を行うこととしている。

問 石巻川開き祭りの催事参加者への暑さ対策として、必要と思われる箇所にミストの設置を。

答 よりよい暑さ対策に向け、実行委員会と協議してきたい。

問 東京電力福島第一原発事故で発生したALPS処理水海洋放出についての風評被害対策について伺う。

答 これまでも国に対し、海洋放出以外の処分方法を検討すること、ALPS処理水からトリチウム等を分離する技術の確立に向けて積極的に検討を進めることを要望してきた。今回、国が決定した処理水の海洋放出に当たっては、国および東京電力が、処理水の安全性について国内外の理解に向けた情報発信を徹底するよう求め、水産業のみならず、ダメージを受けたすべての職種への支援を強く要望していく。



早川 俊弘 議員

ニュー石巻



大雨対策について

問 6月大雨の道路冠水場所と対策を伺う。

答 清水町や貞山地区のガード下、山下駅周辺、中里地区J A周辺で道路冠水が発生した。雨水排水ポンプ場などの整備を行ってきたが、引き続き排水能力向上対策を行う。なお、中里地区については、原因調査を行い、効率的対策を実施するとともに側溝しゅんせつ等の維持管理に努める。

魚市場周辺の整備について

問 水産業支援や観光振興につながる産直施設の設置を求める。

答 民間事業者から相談があれば水産業振興に結びつく産直施設の在り方の意見を聞き、水産業振興を図る。

石巻市立病院の運営について

問 運営状況と改善策について伺う。

答 令和4年度は前年度比較、医業外収益は減少し、外来や入院の医業収益は増加した。経営改善プロジェクトによる職員の経営改善の意識改革、スキル向上を図る。

問 外来患者の77%が60歳以上であるが、病院利用のための情報提供について伺う。

答 病院広報誌の発行や市報への掲載、病院ホームページやSNS等を活用して情報発信している。今後もさまざまな機会を利用したPRを検討する。

問 交通体系とA1を活用した予約バスについて伺う。

答 石巻駅を発着とするイオンモール石巻方面および波駅前方面を結ぶ路線バスを30分から60分間隔での運行とし、公共交通の利便性向上を図る。A1活用予約型デマンドバスについては情報収集し研究する。



木村 美輝 議員

ニュー石巻



問 カーボンニュートラルの取り組みについて伺う。

答 太陽光発電等普及促進事業補助金の交付、石巻市環境保全率先行動計画を策定・実施している。

問 磯根資源の再生とカーボンニュートラルを一緒に行うことはできないか。

答 藻場造成による磯根資源の再生とブルーカーボンによるカーボンニュートラルへの貢献を進める。

問 南浜マリナーの利用状況について。安全性に欠ける場所にマリナーを建設した理由を伺う。

答 旧北上川水利用者協議会の賛同意見を受け決定した。

問 スロープの角度が急なため、船を下ろすことに支障があり、修繕が必要と思われるが、見解を伺う。

答 緊急の使用も含め、スロープの形状を検討していく。鯨の普及活動について伺う。

問 令和5年度捕鯨を守る全国自治体連絡協議会に参加し、令和7年に全国鯨フォーラムを本市で開催したいだけのように表明した。

問 鯨の漁獲規制ラインの見直しを国に働きかけていく必要があるが、見解を伺う。

答 国に適時、適切に見直しをされるように働きかけていく。

問 ALPS処理水放出後の今後の対応について伺う。

答 本市の水産物の安全性について、皆で積極的に水産物を食べ安全性をPRしていく。

問 風評被害は想定されており、対応が遅く感じるが見解を伺う。

答 いろいろな方向から国の方に早急な対応を求めている。



星 雅俊 議員

日高見会



地域資源の活用促進策

半島沿岸区域の災害危険区域

問 利用状況と活用促進策を伺う。また、今年度作成の募集要項(長面地区)では、市外の方が申し込みする場合、申請者が県漁業協同組合や地元代表に説明と同意を得ることが条件。申請者と地元関係者だけの調整では、恣意的な感情が入る危険性があるのでは。

答 半島沿岸危険区域165・4ヘクタール中、利用済は約38%。申請者が地元同意を得るやり方で立ち行かなくなれば考える。

震災伝承施設

問 市内小中学校児童生徒の活用促進策を伺う。

答 震災遺構の見学は、防災学習の有効な手段の一つであり、市所有のバス利用を促進する。

問 経済効果を高めるには、震災伝承施設と中心市街地の商店等、観光施設との連携とPRが必要。民間団体と連携手法を研究してはいかがか。

答 中心市街地と連携する周遊ルートは大事。研究にしっかり取り組む。

指定管理者制度

問 市が負担すべき消費税による増額分を負担しなかった事例や職員の給料が著しく低く、施設ごとで格差がある状況である。県の事例を参考にし、給料等を一定の水準とすることが必要ではないか。

答 公共施設の適正な管理運営を目的に、まず、モニタリング制度を検討する。また、指定管理者の職員の定住には、生きがいを持って働ける、働きやすい環境づくりが必要であり、市と管理者の情報共有する協議に取り組む。



都甲マリ子 議員

日高見会



本市における「心の復興」とソフト事業の今後について

復興財源措置が令和7年度に終了し、市内の心の復興支援各事業も終了の見込みだが、地域の方々にとって必要な事業は検証の上、市独自の施策として残していくべき。

各事業を検証の上、事業の実績や効果、他の市町村の状況を踏まえ、継続が必要かどうか判断する。

市内の震災の語り部活動の財源も令和7年度に終了するが、震災の記憶が風化しつつある今後にごそ必要な事業である。国・県にも状況をご理解いただくよう要望の上、今後の財政措置について検討するべき。

震災伝承の活動は非常に重要な活動だと認識している。国・県とともに協議をしていきながら、財源を含めて継続の方法について検討していく。

本市の文化芸術振興について

石巻市文化芸術振興基本方針は平成20年度に策定された後、15年間改定されていない。時代や状況に合った早期の改定が必要だ。

多様化が進む文化芸術の指針となるよう、市内での文化芸術活動の現状を把握し、担い手の皆様のニーズに対応できる基本方針を目指して改定を行う。

マルホンまきあーとテラスの名誉館長の林家たい平師匠のご協力の下、本市における落語文化の振興に努めていくべき。

市民の皆様が落語文化に触れる身近な企画を実施できるよう、事業展開を提案していく。



佐藤 雄一 議員

ニュー石巻



学校給食について

オーガニック給食は実現可能か。

化学肥料や農薬が使われていないため、安全性が高いが、取り扱っている生産者が少ない。学校給食への食材使用は、供給量や食材価格の面に課題がある。

給食無償化は実現可能か。

県内でも給食費を無償とする自治体が増えつつあるが、給食費を無償化するためには、多額の財源を確保する必要がある。厳しい財政状況にある本市にとっては、非常に難しい。自治体間で格差が生じないように、国策として対応すべきとして国に働きかけてまいりたい。

今後の感染症対策等について

ワクチンで副反応が出た際の相談対応について伺う。

接種後に気になる症状があった場合は、接種医やかかりつけ医に相談。かかりつけ医がいないなどの場合は、宮城県が設置している「新型コロナウイルスワクチン副反応相談センター」を案内している。

本市への健康被害救済制度の申請件数は。

9月11日時点で11件。医療費・医療手当の申請が9件、死亡一時金・葬祭料の申請が2件。

県内の健康被害救済制度の申請件数は。

9月8日時点で180件。

医療機関から副反応に関する報告はあるのか伺う。

厚生労働省から本市に対して情報提供された件数は、9月11日時点で16件。アナフィラキシー、発熱、頭痛、倦怠感、呼吸器症状、皮膚症状、循環器症状等。



千葉 正幸 議員

ニュー石巻



桃生地区3小学校統合と小中一貫校について

令和7年度統合に向けて進めているが、最終的に小中一貫校となる桃生中学校の劣化状況調査を伺う。

早急に整備が進められるよう来年度の耐力度調査に向けてしっかり取り組む。

市営住宅の払い下げについて

木造戸建て住宅の払い下げを伺う。

復興住宅は5年を経過、特定住宅は7年6カ月を経過すれば入居者等に払い下げが可能。

問題点を伺う。

払い下げ希望者において分筆費用の負担等はあるが、できるだけ意向に沿うよう対応する。

消防団の出動命令について

広範囲な市域で消防団の活動も地域ごとにさまざまな対応が求められる。風水害等の災害が予想される初動対応と注意喚起や見回りは、被害を最小限に食い止める。地区団が迅速に対応できる出動命令を伺う。

団員の安全確保を第一に、団長の事前命令等について地区団長会議で協議を進める。

市長の見解を伺う。

即時対応をどうするか地区団長の判断が最優先される。初動対応に遅れが出ないように連携を取りながら進める。

タクシー会社も支援している高齢者運転免許返納支援について

市も支援ができないか伺う。

市の支援はないが、高齢者や免許返納者の路線バスや住民バスの運賃割引を来年度の導入を検討している。

公共交通ではなく免許返納支援について再度伺う。まずは公共交通の支援をさせてもらう。



山口 荘一郎 議員

はやて  
石巻風の会



キャリア教育について

働く意義について、中学校での進路指導でどう扱われるか。

将来の自己実現に向けて、どんな大人になりたいかが進路指導の中心となる。

主体性は社会に出てから大切な資質になる。被災地石巻だからこそ、問題解決能力、主体性の育成に力を入れるべき。

主体性、学びに向かう力は重要であり、問題解決能力を中心に指導している。

外国留学生へ給付型奨学金の検討を開始すると聞いた。大学進学への経済負担は大きく、本市の子どもたちにも同様の検討をすべき。

一概に結論を出せるものではなく、財源を含めてさまざまな状況を鑑みて検討しなければならない。

授業力を磨く取り組みはいかがか。

特に指導力がある教員12人を教科等指導員に指名し、各地区で授業公開等、授業力を高める取り組みをしている。

授業力を上げるには教員の働き方改革が不可欠だ。教育委員会は学校現場に寄り添って対応できるのか。

子どもの教育が第一。子どもを真ん中に置き、学校がすべきこと、教育委員会がすべきことに取り組んでいく。

教員の働き方改革では、学校の仕事を減らすだけの視点で地域を安く扱わぬよう求める。

地域と学校が一緒になって子どもを育てることが基本。地域の方の力を借りたり、一緒に汗をかきながら、地域のために将来も働きたいと、地域を愛する子どもたちを育てていきたい。



鈴木 良広 議員

公明会



気候変動への対策について

学校現場での猛暑対策について

猛暑が続くことで、持参する水筒だけでは足りない児童生徒もいるのではないか。冷水機の設置も検討すべきと考えるが所見を伺う。

水筒だけで足りない生徒の割合などの状況を確認の上、設置の可否について対応を検討したい。

異常気象による大雨等の対策について

9月6日の大雨により、住宅地脇の用水路があふれて冠水する地域もあった。住宅に被害が及ばないよう排水対策強化を図れないものか伺う。

冠水被害軽減を図るため、冠水箇所を把握し、重点的に管路等の整備を進めるとともに、周辺状況に応じた応急措置を含め、今後も対応していきたい。

環境負荷低減の取り組みについて

全国のおよそ6割の自治体で進められている「家庭ごみの有料化」。本市では有料化は考えていないのか伺う。

「家庭ごみの有料化」は、ごみの減量化および財源確保を図る上で効果的な手段と認識している。導入については市民の皆様の負担も伴うことから、効果を見極めながら判断していきたい。

石巻霊園の現状について

お墓参りに来られる方の中には高齢者も多い。墓域内へ手すりの設置を要望しているがなかなか設置が進まない。今後の環境整備方針について伺う。

石巻霊園を訪れる高齢者の利便性のためにも、計画的に設置を進めたい。



勝又 和宣 議員

ニュー石巻



雨水調整池について

調整池に高水位等の異常が発生した際は、職員の携帯端末に通報する仕組みがあるとのことと、その信号を利用してホームページもしくはライン等のSNSを活用し、水位状況の情報を発信することで、安心を与えることにつながると思うが、見解を伺う。

市民の皆さんに周知徹底を図れるような情報発信方法を考えていく。

石巻市産業振興計画について

根室市中小企業者等資格取得支援制度の取り組みについて見解を伺う。

どの業種、どの資格を対象とすることで効果が得られるのか等、財源確保を踏まえて研究する。

学校行政について

「ラーケーションの日」の取り組みについて見解を伺う。

関係施設等の協力が必要となるため、より一層の連携を図り、本市の実態に応じた取り組みについて協議を重ねていく。

教職員の業務改善、授業時間確保や子どもの学力向上等の効果期待も踏まえて、本市における2学期制の導入の可能性について伺う。

校長会と連携、議論し、長期休業を区切りとして日々の生活の流れに応じた教育活動が展開しやすい3学期制を継続することにした。学校ごとに工夫し、年2回の通知表として知らせる学校もある。

AEDは体育館内にあるのが望ましいが、見解を伺う。

今後、設置場所の見直しを含め、適正な設置場所について学校と調整を図っていく。



宇都宮弘和 議員

はやて 石巻颯の会



上品山牧場の活性化と今後の展望について

問 令和6年度の放牧の見通しを伺う。

答 牧場を再開した場合の費用対効果を検証し判断する。

問 牧場の今後の方向性をいつ頃示す予定か伺う。

答 本年10月を目指し取り組んでいく。

問 民間運営について検討されているのか伺う。

答 民間利用を含め、さまざまな観点から今後の牧場運営の在り方について検討を行う。

問 本牧場は、過去5年間で約6388万円の赤字。収支のマイナスの原因や適正な預託頭数について伺う。

答 牧柵の整備費用に4年間で合計2496万円、年平均622万円を含んでいるため支出額が多くなっている。適正な預託頭数は、150頭程度。

問 上品山に埋設している鹿の頭数について伺う。

答 昨年度は1400頭程度埋設している。

問 牧場にある鹿の埋設場所での土壌水の影響（窒素濃度）について伺う。

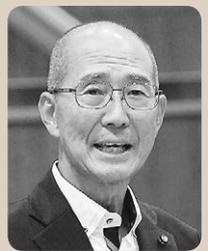
答 窒素濃度の測定を行ったことはないが、埋設による臭いや害虫の影響があるため、新たな施設整備について検討を急ぐ。

問 中長期的な視点で、牧場の利活用とともに上品山の市有地の有効活用について検討も必要と考えるが。

答 牧場以外の利活用は、未利用地の現状を踏まえつつ、市有地の有効活用について検討する。

問 本牧場の今後の利活用や展望（ビジョン）について伺う。

答 畜産農家の意見を優先しつつ、牧場以外の施設の受け入れも検討する。



楯石 光弘 議員

ニュー石巻



メタボ市脱却対策について

問 本市出身の荒井さん91歳はマスターズ水泳で世界一となり、今後も楽しく健康のため泳ぎ続けるとのこと。健康の重要性と本市の健康課題について伺う。

答 健康とは肉體、精神、社会的にも良好で、生活の根幹を支える重要な要素。生活習慣病による死亡率がいまだに国や県の数値を上回っている。

問 10年以上もメタボ県上位から脱却できないことは「誇れる石巻」に反する。原因と対策は。

答 食事等生活習慣が大きい。ウォーキング、体操もいいが、自分に合った長続きできる運動が大切。また、健診でデータを基に改善指導を継続する。

健康ポイント事業の見直しについて

問 市民の誰もが楽しくお得に健康づくりを続けていく仕組みづくりがポイント事業と考える。見直しは。

答 他の自治体の事例を参考に、より効果的な事業の在り方を検討する。

子どもの体力格差について

問 子どもたちの健全育成に尽力してきた白楊クラブ主催、第81回仙北陸上競技大会が和渚で晴れやかに有終の美を飾った。体力・運動能力調査結果と体力格差について伺う。

答 ほとんどの数値が国、県を下回り、特に持久力、肥満、スマホなど生活習慣に課題。シャトルラン、立ち幅跳びに大きな格差。課題を共有し、石巻専修大学の「共創研究プロジェクト」との連携により、市内小学生の筋肉量の測定で課題を絞り、改善策へつなげたい。



櫻田 誠子 議員

公明会



SDGs 誰ひとり取り残さない

問 100周年に当たる2025年、日本で初めて開催の聴覚障がい者のデフリンピックの周知と福祉サービス情報提供の充実について。

答 詳細が分かり次第周知に努める。スポーツに打ち込む姿は感動を与え、障がいに対し理解を深めるきっかけになる。コロナで活動自粛していた団体に個別に補助金を案内し、活動促進に努める。

問 障がい者への情報バリアフリーについて。

答 手話養成講座を実施し99名が登録。視覚障がい者へ福祉ガイドブックの音声CD版を郵送。今後声の市報郵送と音声コード普及に努め、交流会等で丁寧説明する。

問 障がい者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法について。

答 合理的配慮の提供が事業所において義務化となり、令和6年4月から施行される。社会的なバリアを取り除き、共生社会の実現に向け啓発活動に努める。

市民の安心・安全のために

問 空き家の管理について。

答 苦情相談が114件あり、指導通知の送付や訪問による指導をしている。

問 国道398号の右折信号機設置について。

答 警察署に確認し、検討中の回答があった。

問 救命講習の実施とAEDの設置状況について。

答 今年度は本庁以外の職員を対象に講習を実施したい。学校でも心肺蘇生法指導を実施し、重要性を認識。公共施設閉館時対応としてAEDの野外設置は機器の関係上難しいが、設置場所は分かりやすくする。



原田 豊 議員

ニュー石巻



ふるさと納税と施策との関係性について

問 寄付を予算措置する際の留意点等について伺う。

答 寄付者の意向が反映されるよう十分に配慮している。

問 前年度は産業部門に53%活用しているが、寄付者の要望に沿ったものか。

答 寄付金の「使途の指定がないもの」を産業振興の区分へ充当している。その中にはふるさと納税寄付額増加に伴う不足分の事業費も含まれている。

問 均等に運用してほしい。便利なお財布ではない。国や県も予算措置のない給食の無償化など、未実施の事業でも寄付を用いて実施してほしい。言葉の重みが増し、国への牽制にもなる。

答 寄付金の金額が潤沢であればできるが、財源の余裕がない。本来国が実施するべきである。

外国人から見た日本の住環境について

問 本市に暮らす外国人の声を聞き、本市独自のパンフレットなどを作ってみては。

答 外国人住民のご意見を伺いながら、暮らしやすい情報提供を検討していく。

問 10月に石巻市立日本語学校の設置可否を判断すると聞いた。地域課題への波及効果が中途半端。日本語学校について私は反対。公明正大な理由がない限り止めべき。環境を整えるのが先。大崎市の動向を注視し課題などを判断し見送ることを進言する。

答 外国人への待遇は改善する。県とも大崎市とも連携を取りいろいろな観点から判断する。財源の問題があれば立ち止まるが、覚悟を持って進める気持ちは必要。



阿部 正敏 議員

はやて 石巻風の会



問 今年6月16日と9月6日の豪雨により冠水が発生したが、雨水処理施設整備が進み、冠水地域が減ったように思うが。

答 中央地区、石巻駅前、駅裏周辺、渡波、湊、八幡町など、だいぶ減ってきている。

問 山下地域では清水町ガード下、貞山地区など冠水が見られたが、水の引きが早くなり雨水対策効果が表れてきているようだ。

答 山下地区の整備は全て終了していないが、清水町ガード下、バイパス周辺整備や山下中学校前貞山運河に整備予定の本管へのつなぎ込みが終了すれば、冠水被害が減るのではないかと。

問 仮に全ての整備が終了しても、近年至る所で被害が頻発している線状降水平帯などによる雨水対策は難しいのではないかと。

答 9月6日午後3時ごろの雨量は46・5ミリ計測されたが、ポンプ場の排水能力や本管までの雨水路が長い地域によっては少ない降雨での冠水被害も免れないため、冠水箇所の状況を見定めながら改良工事を進める。

問 「雨水は公費」「汚水は私費」が原則であるが、令和4年度汚水事業において、一般会計から3・9億円の基準外繰入金が発生している。

答 汚水処理事業に係る地方債の元金償還金が含まれていないため、繰入金で措置し資金的収支不足分の補填財源にしている。

問 「汚水は私費」の原則が崩れ、毎年赤字が続くようだとい一般会計収支が厳しさを増す。今後、下水道事業会計の推移を注視していかなければならない。



谷 祐 議員

はやて 石巻風の会



石巻市LINE公式アカウントについて

問 本年5月にリニューアルされた石巻市LINE公式アカウントは「デジタル化が進む社会に市民が慣れていくための入口」とも言える重要な取り組みであるため、今後の展開にも力を入れるべき。

答 本年度開始を目標に「住民票の写し」の交付申請受け付けや、道路等の損傷箇所を通報できる機能の追加を予定している。

問 デジタル社会を生きる現代の子どもたちが慣れ親しんでいるLINE内に、相談できる機能を追加すべき。

答 子どもたちにとって、相談しやすい環境や機会を重層的に整えることは大切なため、LINEを活用し、相談窓口を広げることは非常に意義のあること。一方で、迅速な対応が求められる場合や、専門的人材を配置する必要性などがあるため、慎重に検討していく。

ホスピタリティの向上と推進について

問 これからの本市は観光だけではなく、さまざまな分野においてホスピタリティ（おもてなし）を発揮すべき機会が増えると考えられる。この横断的な概念を本市全体で展開していくために、プロジェクトチームの編成等により、推進を図ってはどうか。

答 ホスピタリティの向上は本市の施策の中でも、多岐にわたる分野で、重要な取り組みであると考えている。他自治体の事例等を参考にしながら、庁内の関係部署により、横断的な情報共有の場づくりから始めていく。



我妻久美子 議員

はやて 石巻風の会



**問** 須江の火力発電所建設計画について。9月9日、10日に住民説明会が開催された。これまでの経緯について市で把握している内容について伺う。

**答** 事業者からの変更理由は、「国からFIT認定に係る改善命令が出ているので、燃料の変更を行わざるを得ない」と回答しており、使用する燃料については「ボングミア油がFIT認定燃料になるよう今後も働きかけは継続する」などと発言しており、とても不安を感じた。住民の皆様が納得できる誠実な対応ではなかったように感じた。

**問** 石巻市立病院給食業務委託事業者変更に伴い、地元業者が契約終了となった。食材は地元業者から5割以上使うなど、地元業者を守る視点、市の歳入を守る視点も持っていたいただきたい。関連して、診療の対象は原則15歳以上であることの周知徹底をお願いする。

**答** プロポーザル要項の見直し、地元業者や地元食材についての言及を行う。年齢制限について、周知徹底を行う。

**問** 河南総合支所の建て替えについて伺う。

**答** 今の場所に建て替えか、違う場所か、既存施設の活用など、年単位で住民の皆様の見解を広く聞き、丁寧に進めていく。

**問** 中学校の図書室の活用について。鍵がかかっているが、オープンスペースにして生徒がほっとできるような空間を作ってはいかがか。

**答** 生徒会などを通じて、生徒自身がくつろげるような空間を作れるよう働きかける。



西條 正昭 議員

はやて 石巻風の会



**問** 福島第一原発のALPS処理水海洋放出に伴う風評被害対策について

**答** 令和5年8月24日に第1回目の処理水が放出。以降、中国は日本の水産物の輸入を全面的に停止。香港、マカオでも10都県産食品の輸入を禁止。それらの影響に対する市の対策を伺う。

**問** 国に対し、処理水の安全性を明確にし、国民に周知徹底を図り、生業としての水産業を継続していきけるように支援を求めていく。

**問** 東日本大震災から発展的復興を目指してきた石巻市の現状について

**答** 土地区画整理組合や被災者同志で分譲した地区等の未整備となっている道路、集会所等について伺う。

**問** 集会所は整備実現に向け支援していく。開発行為における許可申請の中で、道路は用地を市に帰属せず開発者が管理することになっている。

**問** 国道398号北上地区道路改良整備について

**答** 北上町立神々長塩谷間の整備について。

**問** 現道が一次改良済みである。局部改良については交通状況等確認し、検討すると伺っている。

**問** 小室防集団地と集落入口の安全対策について。

**答** 現場の状況を再確認し、関係機関へ要望していく。

**問** 街路灯の整備について。

**答** 今後も粘り強く働きかけていく。

**問** 県道（北上～津山線）道路改良整備について

**答** 大沢橋の架け替えと砂防ダムの整備状況等を伺う。

**問** 確実に前進。早期着工を目指す。

**問** 泉沢・峯地区の排水対策について。

**答** 道路の嵩上げは困難。水路等を適切に管理していく。



後藤 兼位 議員

はやて 石巻風の会



**問** 東京電力福島第一原発の処理水の海洋放出に伴う本市の水産業について

**答** 取り巻く諸問題について伺う。

**問** 海洋放出による風評被害により、水産業関係者は、取引中止など、既に大きな影響が出ている。

**答** 温暖化による魚種の変化への対応が必要だ。

**問** 魚種の変化に対応すべく、国や県の補助金の紹介のほか、本市としても財源確保と併せ、支援策を研究する。

**問** 海洋放出は、今の計画では30年かかる。地下水を陸上養殖をすれば処理水の影響を受けず、安定供給も期待できる。持続可能な水産業の未来を切り拓く重要な手段だ。事業者への助言、補助金等積極的に対応すべきだ。

**問** 電気料金を補助する「原子力発電施設等周辺地域企業立地支援事業制度」の対象としている。業界と協議しながら、取り組もうとする皆さんを全力で応援する。

**問** 行財政改革について

**答** 今後の推進について伺う。

**問** 少子高齢化と人口減少が進む中、今後、税収の減少、社会保障費の増大、震災により膨れ上がった公共施設の維持管理など、一層厳しさを増す。歳入の確保や事務事業の見直しなど効率化を進める。

**問** 市税の収入状況は飛躍的に向上しているが、対照的に災害援護資金等私債権の収入未済額は増加、学校給食費の滞納額は3千万円となっている。

**答** 対策として、適正な滞納処分の実施とともに、生活困窮、未財産、所在不明からなる滞納処分の執行停止を適切に実施する。



阿部 久一 議員

ニュー石巻



福島第一原発の処理水放出に伴う風評被害対策について

問 風評とは、真意が明確になっていない言葉とも言われているが、最近SNSの発達により瞬く間に全世界に広がる。

しかし、風評に動じない心で現実をしっかり見つめ安全性と真実を見極めることが、浜を守る、生活を守ることであり、我々の郷土を守ることにつながる。市民が納得できる対策について伺う。

答 水揚げされた水産物の検査を行い、放射性物質が含まれていないことを公表しており、本市の水産物は安全で安心して食すことができることを、引き続き強くPRする。

防災対策について

問 スマホでの防災アプリの取り組みを推進すべきである。

答 防災訓練による効果検証を踏まえ、実用化に向けて取り組んでいきたい。

問 ヘリポート場の進捗状況について伺う。

答 整備条件も確認できていることから、関係部署と財源確保に努め、早期整備を目指す。

問 県道238号線尾ノ崎名振間の道路未整備は40年以上になる。早期実現すべきである。

答 令和3年度に避難機能を有する道路機能の財源確保として、市と議会の合同で中央要望をしているほか、令和4年度は、石巻圏域を含む南三陸復興国立公園の各地域を広域観光ルートならびに緊急時における短縮搬送道として、早期整備していただくよう、県東部土木事務所に要望活動を実施している。

訃報

水澤富士江議員 逝去



令和5年7月29日、水澤富士江議員が急逝されました。

ここに生前のご功績をしのび心よりご冥福をお祈りいたします。

故水澤富士江議員をしのんで

第3回定例会開会日の9月7日に故水澤富士江議員の追悼の式が開かれました。

哀心から哀悼の意を表し、全員で黙祷をささげた後、議員を代表して、櫻田誠子議員が追悼の辞を述べました。

また、故水澤富士江議員のご遺族より挨拶がございました。



議員述懐 水澤富士江議員の追悼 櫻田誠子議員



全員で哀悼の意を表し黙祷

心より御冥福をお祈り申し上げます

変更のあった委員会構成等についてお知らせします。

議会運営委員会

齋藤澄子委員に代わり、新たに早川俊弘議員が委員に選任されました。

総務企画委員会  
総合防災対策特別委員会

水澤富士江委員が御逝去されたため、1名の欠員となります。

産業建設委員会  
少子化対策特別委員会

佐藤雄一委員が議員辞職されたため、1名の欠員となります。

石巻地方広域水道企業団議会  
議員

齋藤澄子議員に代わり、新たに丹野清議員が選出されました。

石巻地区広域行政事務組合  
議会議員

水澤富士江議員の御逝去、佐藤雄一議員の議員辞職に伴い、新たに大森秀一議員、遠藤宏昭議員が選出されました。

## 第3回定例会で可決した意見書

9月27日の本会議で、多核種除去施設で処理された水(ALPS処理水)の海洋放出が8月24日に実施されたことから、風評被害等の対応を強く要望するため、ALPS処理水について風評被害等の早期対応を求める意見書の提出を可決しました。

提出者：大森秀一議員、賛成者：全議員(安倍太郎議長を除く)



大森秀一議員

### 議会議案第1号 ALPS処理水について風評被害等の早期対応を求める意見書

国は、多核種除去施設で処理された水(以下「ALPS処理水」という。)の海洋放出を令和5年8月24日に実施し、安全確保や風評対策などを実行していくとしているが、いまだ風評被害等の対策は決して十分と言えるものではない。

また、IAEA(国際原子力機関)により、「ALPS処理水が人及び環境に対する放射線量は無視できるほどにある」と結論付けされているにもかかわらず、国内外に風評被害は拡大している。

東日本大震災において壊滅的な被害を受けた本市の基盤産業は、いまだ復興の途上であり、販路回復等の深刻な問題を抱えていることから、これ以上、東京電力福島第一原子力発電所事故(以下「原発事故」という。)による風評被害等の拡大を招くことは許されない。

ALPS処理水の海洋放出に伴う風評被害対策の不足や遅れは、水産業をはじめ農林業、観光業等の市民活動全体に影響を及ぼしている。風評被害対策が不足した状況でのALPS処理水の海洋放出には、引き続き反対の立場であり、国は原発事故の収束に向け万全の対策を講じ、迅速に責任を持って実施していく必要があることから、下記について措置を講ずるよう強く要望するものである。

#### 記

- 1 水産都市である本市に風評被害対策窓口を設置したことを、早急に関係者に周知するとともに、風評被害対策に関する事務手続をできる限り簡素化すること。また、様々な対策を取っても風評被害等が発生しているため、国のセーフティネットにより、責任のある財政措置を講ずること。
- 2 これまでの復興の努力と成果が無にならないよう、海洋放出以外のALPS処理水の処分方法を継続して検討するとともに、国が責任を持って漁業者と地域の理解を得た上で、将来にわたってALPS処理水の取扱いに対応すること。
- 3 諸外国に対して、科学的な根拠に基づく安全対策の情報を引き続き分かりやすく発信し、風評を生じさせない仕組みづくりに努めるとともに、業種・業態に応じた実効的な対策を講じ、水産業を初めとする各産業や国内外の消費者等の不安の払拭に努めること。
- 4 賠償に当たっては、原発事故起因者であることを自覚させ、個別事情を丁寧に聞き取り、迅速かつきめ細やかな対応をするよう指導を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、財務大臣、農林水産大臣、  
経済産業大臣、環境大臣、復興大臣、原子力規制委員会委員長

## 第3回定例会に提出された陳情

- 宮城県の乳幼児医療費助成制度(子どもの医療費助成制度)について県に対する意見書採択を求める陳情書  
(提出者) 子ども医療ネットワークみやぎ 岩倉 政城
- 新型コロナウイルス感染症対策に関して見直しを求める陳情書  
(提出者) 市民の命と絆を守会 会長 千葉 繁

※これらの陳情は、全議員へ参考回付しました。

# 議会運営委員会・特別委員会行政視察レポート

議会運営委員会および各特別委員会等が行った行政視察についての概要を紹介します。

## 議会運営委員会

【実施日】令和5年7月4日～6日  
【視察地および視察事項】

●北海道鷹栖町

『議会の広報広聴活動について』

●北海道滝川市

『予算・決算の審査方法について』  
『複数常任委員会制度について』  
『オンライン委員会の開催について』

鷹栖町議会では、議員主導で広報物を作成しており、議会報は読みやすさ、分かりやすさ、インパクトなど、住民目線で伝え方を工夫している。議会告知チラシは、中吊り広告風、映画風など、強く引き付けられる出来栄であった。また、シヨウワ学習帳風の傍聴ガイドブックのほか、一般質問を評価する議員通信簿の導入など、多彩な取り組みを学ぶことができた。

滝川市議会では、予算・決算特別委員会に付託して予算・決算を審査しており、質疑回数や時間制限のない点の特徴である。複数常任委員会制度は、議員定数削減のタイミンで検討され採用している。オンライン委員会は、庁舎内の会議室をつなぐ形で行われた。いずれも本市議会改革推進会議の検討課題であるため、今後も先進事例を研究していく必要がある。

## 総合防災対策特別委員会

【実施日】令和5年7月12日～14日  
【視察地および視察事項】

●北海道幌延町

『幌延深地層研究センター』

●北海道稚内市

『稚内市地域防災計画について』

幌延深地層研究センターでは、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する研究を行っている。処分システムは放射性物質を覆い閉じ込める人工バリアと地下300mの自然現象の影響を受けにくい天然の岩盤を組み合わせたものである。

女川原子力発電所の立地市として、高レベル放射性廃棄物の処分に向けて安全対策の研究と開発を望む。

稚内市では、地区の自主防災組織に出向き、地域ごとの地区防災計画策定に取り組んでいる。職員が作る計画は最初の叩き台と考えており、地域自身が有用なものに作り変えていくことが重要である。

災害時には、自助・共助が大前提となることから、地域の避難意識の共有は必須である。本市においても、地域の実態に則した地区防災計画を策定していくよう提言する。

## 地域交通対策特別委員会

【実施日】令和5年7月12日～14日  
【視察地および視察事項】

●岡山県井原市

『予約型乗合タクシー「あいあいカー」への配車システムについて』

●岡山県岡山市(両備ホールディングス株式会社)

『宇宙一面白い公共交通を目指すプロジェクト等について』

井原市では、令和2年度に「井原市地域公共交通計画」を策定し、利用が少なく採算性の低いバス路線を廃止し、利便性の高い予約型乗合タクシー「あいあいカー」に転換をするなど、公共交通体系の見直しを図った。細やかな住民説明会やアンケートを実施の上、住民ニーズの把握に努めており、自治体の状況に即した公共交通事業を展開していた。

岡山県岡山市の両備ホールディングス株式会社では、バスの利用率、公共交通分担率が低い状況を背景に、バス利用を呼び掛ける企画を月替わりで実施していた。乗車そのものを楽しめる仕掛けをバスラッピングや内装に仕掛けており、地元の公共交通存続のために利用者目線で事業に取り組んでいる。

## 少子化対策特別委員会

【実施日】令和5年7月12日～14日  
【視察地および視察事項】

●北海道札幌市

『札幌市立資生館小学校(札幌市子育て支援総合センター・資生館小ミニ児童会館)の現場視察』

●北海道江別市

『子育て支援センター「ぽこぽこ」の現場視察』

札幌市はドーナツ化現象による都心部4小学校の児童数減少に伴い、学校統合による適正規模化および地域コミュニティの再構築等を図るため、札幌市立資生館小学校、資生館小ミニ児童館、札幌市せいいかん保育園、星友館中学校からなる札幌都心部子ども関連複合施設が建設され、0歳児から児童期の一貫した子育て支援体制が構築されている。

江別市では、イオンタウン江別のザ・ビッグ江別店内に子育て支援センター「ぽこ あ ぽこ」を設置し、子育て支援センター事業、有料託児サービス、企業との連携、就労支援を行っている。保育士、子育てコーディネーターが常駐し、市民の身近な場所での子育て支援を行うことで相談しやすい環境を整備している。

## 議会を傍聴してみませんか？

本会議と委員会は、原則として市民の皆さんに広く公開しており、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。特に本会議は、市民の皆さんが選んだ議員全員によって構成され、皆さんの生活に直結した議案などを審議し、議会の最終的意思を決める会議であり、議員の発言や市長の考え方などを直接見聞きすることができますので、ぜひ傍聴にお越しください。

本会議の一般席は44席、車いす使用者用の特別席は4席、委員会の一般席は10席で、先着順となります。  
※団体での傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局へご連絡ください。

## 傍聴のしかた

受付場所	本会議等開会日に市役所6階にある議会事務局までお越しください。 ※本会議の開会時間は原則として、開会日は午後1時、2日目以降は午前10時です。
受付方法	受付で議会傍聴受付表に「住所」・「氏名」を記入していただき、議会傍聴証を受け取ってから、傍聴席に入場してください。

## 議会の動き 令和5年

### ≪7月≫

- 4日 議会運営委員会行政視察(～6日)
- 5日 埼玉県本庄市議会行政視察来石
- 6日 富山県高岡市議会行政視察来石
- 11日 兵庫県姫路市議会行政視察来石
- 12日 総合防災対策特別委員会行政視察(～14日)  
地域交通対策特別委員会(～14日)  
少子化対策特別委員会(～14日)
- 19日 産業建設委員会
- 24日 山口県周南市議会行政視察来石
- 25日 中央要望活動(～26日)  
石巻颯の会行政視察(～28日)
- 27日 兵庫県高砂市議会行政視察来石
- 28日 大阪府貝塚市議会行政視察来石

### ≪8月≫

- 2日 みちのくウエストライン中央要望
- 3日 埼玉県入間市議会行政視察来石
- 7日 ニュー石巻行政視察(～10日)  
公明会行政視察(～9日)
- 9日 富山県高岡市議会行政視察来石
- 22日 議会改革推進会議研修視察  
熊本県南関町議会行政視察来石  
京都府八幡市議会行政視察来石
- 24日 環境教育委員会意見交換会
- 28日 東京都江戸川区議会行政視察来石

### ≪9月≫

- 1日 産業建設委員会
- 4日 議会運営委員会  
広報広聴委員会
- 7日 本会議(開会、提案理由説明)  
全員協議会  
総務企画委員会  
環境教育委員会  
保健福祉委員会  
産業建設委員会  
総合防災対策特別委員会  
地域交通対策特別委員会  
少子化対策特別委員会
- 8日 本会議(決算、条例案、予算案等審議)  
議会改革推進会議
- 11日 総務企画委員会(現地視察)
- 12日 議会運営委員会  
本会議(議案の訂正)  
総務企画委員会(書面審査)  
環境教育委員会(現地視察)
- 13日 環境教育委員会(書面審査)  
保健福祉委員会(現地視察)
- 14日 保健福祉委員会(書面審査)  
産業建設委員会(現地視察)
- 15日 産業建設委員会(書面審査)
- 19日 議会運営委員会  
広報広聴委員会
- 21日 本会議(一般質問)  
産業建設委員会
- 22日 本会議(一般質問)
- 25日 本会議(一般質問)
- 26日 本会議(一般質問)
- 27日 本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)  
議会運営委員会



## 本会議・常任委員会を動画で配信しています。

視聴される際は、市議会ホームページの  
『市議会YouTube配信(ライブ中継・過去録画映像)』  
をご覧ください。



本紙面のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問や委員会審査の動画(録画映像)をご覧いただくことができます。

### 次回(令和5年12月)の議会定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 13:00 本会議 開会	12 10:00 本会議 議案審議	13	14 10:00 総務企画 13:30 環境教育	15 10:00 保健福祉 13:30 産業建設	16
17	18	19	20 10:00 本会議 一般質問	21 10:00 本会議 一般質問	22 10:00 本会議 一般質問	23
24	25 10:00 本会議 一般質問	26 10:00 本会議 一般質問 閉会	27	28 仕事納め	29	30
31						

※開会時間・日程は変更となる場合があります。

### 議会の内容を知る

本会議の様子はインターネット(YouTube)で、生中継やこれまでの録画配信をご覧になれます。



YouTube 石巻市議会チャンネル

公式な記録である会議録は、市ホームページや図書館、議会図書室でご覧になれます。



会議録の検索・閲覧

■第3回定例会ライブ中継の視聴回数 2,405回 (令和5年9月7日～9月27日)  
■YouTube録画中継の視聴回数 10,008回 (令和5年7月～9月末)



### 編集後記

最高気温30度以上の真夏日が47日もあり、本市は史上最も暑い夏となりました。新型コロナウイルスも5類に移行したことからまちの賑わいも取り戻しつつあります。

しかし、福島原発のALPS処理水が8月24日に海洋放出され、水産のまち石巻市でも風評被害が出ていることから、市議会において「ALPS処理水について風評被害等の早期対応を求める意見書」が全会一致で可決され、衆参議長をはじめ内閣総理大臣等関係大臣に提出することになりました。

議案では、令和4年度一般会計および各種特別会計決算が承認されました。

水澤富士江議員の突然の逝去により、一般質問を欠かすことのなかった水澤議員の声が聴けなくなったことに寂しさを感じました。水澤議員のご冥福を心からお祈り申し上げます。

また、県議会議員選挙出馬のため辞職した議員もあり、30名の議員が28名となりました。2名欠員ですが、市民の皆様への負託に応えられますよう今後も議会としての役割をしっかりと果たします。

広報広聴委員会 委員 千葉 正幸

DATA 市総人口：135,216人【男：65,647人 / 女：69,569人 / 世帯数：62,471世帯(令和5年9月末日現在)】